

区分	実施時期	事業・活動名称	活動回数	参加者数		概要	主な写真
				受益者	会員		
地球温暖化防止活動 普及啓発事業	5月20日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 加藤俊一 サポーター松本明美	1/6	50	2	グリーン・サステナブル・ケミストリー 講義	
	5月27日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 加藤俊一 サポーター松本明美	2/6	50	2	グリーン・サステナブル・ケミストリー 講義	
	6月1日	環境展 コロナで中止					
	6月3日	別府溝部学園高校 加藤、松本	1/3	12	2	地球温暖化防止について学ぶ	
	6月10日	ボランティア部 松本	2/3	10	1	エシカル消費とSDGsについて	
	6月15日	各16:30~17:30 加藤、松本	3/3	12	2	クールチョイスに取り組んでみましょう。	
	7月15日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 加藤俊一 サポーター松本明美	3/6	50	3	「行動は今です！」 クールチョイス	
	7月22日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 松本明美 サポーター加藤俊一	4/6	50	2	気候変動とエシカル消費	
	7月29日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 玉田学 サポーター松本明美	5/6	50	3	気候変動とイノベーション	
	8月5日 10:10-11:40	大分大学グリーン・サステナブル・ケミストリー 松山真弓	6/6	56	6	SDGsカードゲーム SDGsをゲーム感覚で知るワークショップ	
	11月3日 10~15	アースデイおいた2020 「さあ始めようSDGs 2030年にむかって！」	1	1641	10	エシカル&SDGsを考え・広めよう！ ・温暖化防止PR・気候非常事態宣言署名活動 ・紙芝居・モリंगा販売等	
	11月21日 11:00~15:00	うつくし感謝祭 大分駅北口広場	1	200	9	ブース出展：ES事業のPR、ストラックアウト15組 ワークショップ紙飛行機50機、ランタン作り12名 紙芝居5回 キャンプ 回収約2000ヶ	
	6月26日 13:30~14:30	ストップ温暖化アクション 高橋、江口、佐藤、上久保、加藤、松本	1	100	6	大分駅南口街頭	
	8月29日 13:30~14:30	ストップ温暖化アクション 高橋、江口、山下、野村、玉田、芦刈、松本	1	100	7	大分駅北口街頭	
	10月31日 13:30~14:30	ストップ温暖化アクション 高橋、江口、矢野、野村、玉田、上久保、松本	1	100	7	大分駅北口街頭	
	9月1日 19:00-20:00	二目川自治会講座 加藤	1	35	1	地球温暖化防止について学ぶ	
10月17日 10:00~11:00	明治地区婦人会講演 松本	1	40	2	明治公民館 温暖化とエシカル消費&プラごみ		
12月13日 13:30-15:00	明治まちづくり協議会後援 加藤	1	28	2	異常気象と防災		
8/30~12/6 13:30~16:30 全3回	「おいた地球塾 第1回 8月30日 コンパルホール 2020」 第2回 10月25日 別府市美術館 会場+オンライン 第3回 12月6日 ホルトホール	3/1 3/2 3/3	25 20 21	9 9 9	大分県2050「脱炭素宣言」環境家計簿 「リサイクル日本一の大崎町に学ぶ」 「地球が壊れる前に」を上映		
通年	うちエコ診断 加藤	1	18	1			
(子ども向け事業)	8月20日	夏休み中学生のための温暖化防止教室	1	9	3	オンライン授業で温暖化の仕組み	
	9月20日	「子ども地球教室2020」	1/2	22	5	大分、別府市小学校高学5,6年18名高校生4名対象の教室 ・九重タデハラ湿原観察会 ・九重青少年の家での工作 ・鳴子川水力発電見学 ・夢吊り大橋見学	
	12月27日	冬休みの小学生の地球教室	2/2	12	3	「気候のはなし」京都からライブオンライン	
研修	8月、12月	地球温暖化推進員研修会	1		10		
2020計			25	2711	116		
昨年			31	1966	132		

うつくし県民会議

5.10月 加藤、松本

チーム月例会議

毎月

コロナ禍で補助金関係の事業縮小で支出減204千円および自己会計の収支減により、1000千円規模の事業会計となった。

1. 補助金関係

科目	2020(令和2)年度			2019年度 実績	備考
	当期予算	当期実績	差異		
損保ジャパン興亜基金	200,000	200,000	0	200,000	
大分県地球温暖化対策講座(委託)	100,000	92,200	-7,800	100,000	
大分県子ども探検団推進事業(委託)	300,000	234,237	-65,763	300,000	
大分市市民が支える応援事業(補助金)	300,000	169,670	-130,330	260,000	
コープ大分	200,000	200,000	0	0	
セブンイレブン助成				395,000	
計	1,100,000	896,107	-203,893	1,255,000	

2. 自己会計関係

科目	2020(令和2)年度			内訳
	当期予算	当期実績	差異	
(1)前期繰り越し	142,010	142,010	0	現金4000,預金138,010 (豊和127699,大分10311)
(2)収入				
①会費収入				
個人正会員	36,000	36,000	0	18名×@2000
計(A)	36,000	36,000	0	
②その他				
会の上納・寄付	30,000	23,000	-7,000	玉田3000、加藤10000、松本10000
大分市社協補助金	6,000	6,000	0	
大分銀行	0	10,311	10,311	預金引き出し(大分銀行口座解約)
大分県うつくし感謝祭	10,000	10,000	0	
還付・返金	0	5,940	5,940	ホルト4340,保険1600
銀行利子	0	2		
③企業協賛	50,000	0	-50,000	アースデイおおいた寄付
計(B)	96,000	55,253	-40,747	
収入計(A)+(B)	132,000	91,253	-40,747	
(3)支出				
①消耗品	15,000	4,331	-10,669	事務費、材料費
②使用料	1,000	0	-1,000	駐車
③県うつくし感謝祭支出	10,000	9,000	-1,000	
④寄付	10,000	0	-10,000	アースデイおおいた寄付
⑤広報費(HP管理費)	12,000	0	-12,000	未払い→次年度繰越
⑥会費納入	1,000	1,000	0	市社協年会費
⑦ZOOM年間登録費	0	18,000	18,000	
⑧雑費	0	10,311	10,311	大分銀行解約(前期繰越の払い出し)
支出計(B)	49,000	42,642	-6,358	
(4)次期繰り越し	225,010	190,621	-34,389	現金50980 預金(豊和銀行)139641

2°Cの事業額レベル		当期予算	当期実績	差異	2019年度
委託・補助金 +自己会計	収入	1,236,000	987,360	-248,640	1,381,956
	支出	1,149,000	938,749	-210,251	1,317,203

上記活動計算書について、支出明細表、領収証、現金が適正であったことを監査します。

令和3年3月31日

会計監査 山下 莖三

印

2. 4年間の事業・業務計画（案）



(1)事業計画案 2021の活動指針：【県下総参加】、「行動の10年、脱炭素の啓発・普及行動の行動変革（トランスフォーム）：エコを卒業（習得）して、脱炭素ステップへ」

アジェンダ/ターゲット		取り組み方法・ツール等	指標	協働ネットワーク	担当	4年計画				
						2021BH	2021AH	2022	2023	2024
I. おおいた県民気候講座		「行動変革の啓発」		低炭素・脱炭素へのガイドブック+PPT作成						
1. 定型・定量的なオンライン講座 *GO to脱炭素・SDGs 県内講座 「県民向けZOOMセミナー」	・広い、多くの啓発・普及と県内連携を目的に 県内市町村一斉又は市町村別のオンライン講座を実施。今年度は、市町村、市町村協議会、温暖化推進員、うつくし作戦推進隊を対象	・県、市町村協議会とのコンセンサス活動 ・年6回×1h～2h 日曜・祝祭日の昼間時間帯 ・参加者募集、把握の方法検討 ・一部外部講師も招聘。県のリーフレット、実行計画等と連携	講座参加者数 100名/回 行動変革	エボ九州 大分県、市町村協議会、温暖化センター		△	○	○	○	○
2. 不定型・随時講座	(1)大分大学開催講座の要請に連携対応 (2)大学・高校、公民館、地域、PTA,NPOなど (3)定点（地区公民館）講座の可能性	・脱炭素とSDGsの講座 ・ハイブリッド方式（対面+在宅）	講座参加者数 500名/年	大分県、大分大学		○	○	○	○	○
3. GOto脱炭素地域オンラインセミナー *年ワンチャンス *NPO法人気候ネットワークと連携	・NPO法人気候ネットワークの事業に積極的参加し、大分県の脱炭素活動を全国に発信	・対象団体の選択・実施時期検討（年度内初期に想定団体と接触・調整） ・各団体の場所を拠点に全国オンラインセミナー	全国参加者 200名/回	NPO法人気候ネットワーク 関連団体			○			
II. おおいた青少年地球教室		「行動変革の啓発」		低炭素・脱炭素へのガイドブック+PPT作成						
1. 小学生向け出前授業 *子ども探検団事業1とする。	・小学生5,6年の「温暖化教育」の普及を目的にシリーズ・オンラインの出前授業を試行錯誤する。2021は大分市、別府市を対象。	・2020冬休みに実施したような希望者型授業 ・年6回×1h 日曜・祝祭日の昼間時間帯 ・シリーズ参加（会員方式）で募集。ポイント等の工夫を検討。 ・一部外部講師も招聘。	講座参加者 50名/回	大分県、県教委・市教委 小学校（約120校）		□	○	○	○	○
2. 中学生向け出前授業 *子ども探検団事業2とする。	・中学校1-3年生の「温暖化教育」の普及を目的シリーズ・オンラインの出前授業を試行錯誤する。2021は大分市、別府市を対象。	・2020夏に実施したような希望者型授業 ・他は、小学生と同じ ・学校と相談して、集合出前授業の可能性も検討を行う	講座参加者 50名/回	大分県、県教委・市教委 中学校（約45校）		□	○	○	○	○
3. 自然体験探検団 *子ども探検団事業3とする。	・6年目の継続を行う。	・日帰り型とする ・実施期日は2020と同じ秋の連休時期を選ぶ	参加者 30名	大分県、市教委		○				
4. 高校生向け気候変動講座	・大分市、別府市を対象に高校における気候変動教育を調査し、方向・方策を決める。	・まず学校のヒアリング	調査・検討 上半期	大分県、県教委			△	○	○	○
III. アースデイおおいた		「行動変革の啓発」								
1. 脱炭素をテーマにSDGsとエンカールで構成する多様なイベント	・復活3年目、「大きなコミュニケート」のイベントへの変革を目指す。 いろいろな分野の企業体、大学生、高校生、行政等、多様でビッグな出展を指向	・2021.5.9(日)を予定 別府公園を予定 ・出展者調整を早い時点から開始 ・多くの来場者の工夫	来場者 2000人 出展多様化	大分県、別府市、出展者群		○		○	○	○
IV. その他連携・支援事業(事業性の高い事項)		「行動変革の啓発」								
1. 再エネ電力の啓発・普及 「再エネ100%電力 (RE100)普及宣言」	・脱炭素の有効な対策である再エネ電力への切り替えをチーム内外に推進する	・容量市場のリスク調査/パワーシフトキャンペーン連携 ・4つの新電力会社を対象にし、会社を見極める ・各種講座、出展機会、手続き代行(拠点)等	解約者 200名 Cオフセット量 300t	再エネ電力会社と共同		○	○	○	○	○
2. 街頭活動の拡大 「若者の行動変革」	・ストップ温暖化アクションの継続	・参加者拡大（大高生など）・日曜日 ・2021は偶数月とする ・温暖化・脱炭素・SDGsのアピール	参加者 10名/回			○	○	○	○	○
3. 脱炭素企業などの視察調査	・モリショウグループ、新電力おおいた、日本製鉄、ソーラー企業、ZEHモデルハウス	・気候ネットワークGoto脱炭素地域セミナー想定企業をからめる。	視察箇所 3箇所	視察企業		○	○	○	○	○
4. その他	・キャップ回収運動の継続・拡大 ・モリマガクラウドファンディング	・明治地区などとの協働 ・モリマガ返礼品	回収数 年30万個			○	○	○		

アジェンダ/ターゲット	取り組み方法・ツール等	指標	協働ネットワーク	担当	4年計画				
					2021BH	2021AH	2022	2023	2024
I.NPO法人化 <i>脱炭素活動の意思表示、活動のステータスを高める。</i>									
チームの品格、事業推進の信頼性、団体の客観的位置（九州一の気候変動関連団体を目指す）、チーム自体の運営の高度化、体制継承の条件、会員対策等を考え、懸案としていたNPO法人化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・2021上半期にNPO法人化を行う。 ・チーム名を1.5°Cに改称する。 ・事務所所在地の検討 ・職員の体制について ・理事、監事の選任（理事と役割り） 	時期 必上半期	NPOセンター		○				
II.運営課題へ対応する人的基盤整備 <i>一人ひとりが主役です。脱炭素へあなたはどうか行動変革するか。</i>									
<p>身の丈にあった、現有基盤における集中と選択もある。しかし行動の10年に対峙する時、人的基盤整備に取り組み、大分県の中心的な気候変動団体として、確固とした位置づけを構築する機会とし、そして大局的に脱炭素課題へ取り組んでゆく。会員の意識、役割りの精査等、以下の課題に変革的に取り組む。</p> <p>1.会員の意識について 会員のそれぞれの個性・特徴がチームにとって有意義である場合、多様性を共有できる。チームにおける使命感・存在証明が無い場合、それは烏合の衆と思う。例えばそれがボランティア活動としても、推進員の県行政の在り方を継続的に糺す。</p> <p>2.チームの組織について「 プランナー（執行部）とプレイヤーの運営形態を構築、確立する。また部会組織を設ける。役員理事を主担当に、副担当と担当を定める。</p> <p>3.チームの目標管理・個人の目標管理（会員意識とスキルアップ） 一つは、チーム、推進員としての役割りの目標：プランナーになる、情報収集屋にな教材づくりをする、広報対策を担当する、簡略な手続き関係を担当する 等もう一つは自身・家庭での目標：家計簿をつける、電力削減の目標管理をする、再エネ電力に変更する、気候変動学習をする、環境アドバイザー講師になる、CO2を30%減らす 等</p> <p>4.温暖化行政への行動 「文書での提言行動の実行」「署名活動への行動」 提言：環境省、大分県・市町村への提言 署名：全国組織署名活動を活動した活動：change org</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月例会の最適な時期・曜日について ・チーム内勉強会・研修会について(頻度、タイミング) 外部団体のオンライン講座参加 ・5名のプランナーの確保・選任：スキル会員の加入、スキルアップ:学習・育成 <p><部会組織></p> <ul style="list-style-type: none"> ①おおいた気候県民講座：GOto 脱炭素事業部会 ②おおいた青少年地球教室：子ども事業部会 ③アースデイおおいた：アースデイ事業部会 ④その他支援・連携：総務広報部会 <ul style="list-style-type: none"> ・推進員養成講座を県、センターでの仕組みを要請する。またチームで講師養成の支援を行う。 ・推進員課題（学生推進員・企業推進員、推進員養成、報償等） ・子どもの教育問題（「中高生地域リーダー研修会」） ・風力等環境破壊、気候非常事態宣言の署名 	会員数 20名 組織体制 ・ブラブレ体制 ・部会制 ・個人目標実施者数 ・チーム目標参加者数	大分県		○	○	△		
III.世代交代・継承 <i>意志と責任と方法をつなぐ、持続可能な活動・行動変革及び多様な人材結集</i>									
<p>チームの高齢化が進み、世代の交代が必然となり、松本体制への継承を宣言・同意のもと、共同代表制など一定の施策を執ってきた。中期4か年計画半ばの世代替わりを好機と捉えて、基盤強化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022.9を世代交代時とし、それ迄、共同代表型は継続。 ・NPO法人化と世代交代の運動との関係は、基盤的に時期尚早であるが、NPO法人化時の体制を一次世代交代、2022.9を2次世代交代とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022.9までに会員の充実（会員増）に努める。 行政、企業、学生、高校生、障がい者、一般社会人など多様な会員構成など県の支援、チーム総力で挑戦する。 「中高生地域リーダー研修会」県青少年課青少年育成県民会議の活用 ・NPO法人化の一次世代交代は、2021役員改選事項で上記、「チームの組織案」とし、整理してゆく。 *NPO化規約：理事3名以上、監事1名以上 	時期 22.9	大分県		○	○	△		
IV.その他連携・支援事業（業務性の高い事項） <i>事業をささえ、事業の成果を高める。</i>									
1.脱炭素ノベルティ <i>「行動変革象徴」</i>	<ul style="list-style-type: none"> ①街頭活動用 ②講座参加用 ③子供用 	課題推進率			①	①	①		
2.脱炭素・SDGs広報 <i>「行動変革広報」</i>	<ul style="list-style-type: none"> ①脱炭素を更新したチームパンフの製作 ②脱炭素会報の発行(1.5°C新聞) ③HPの変革リセット及び広告のリンク・提言・署名活動への進出 * II-4関連 ④fbサイト設置 【地球温暖化防止活動推進員おおいの輪】の活用・拡充 ⑤メディア：合同新聞との関係づくり、女性タイムズ、アケノタイムズへの気候関係 	課題推進率				①	③	②	③
					④				
					⑤				



< 予算の考え方 >

2021事業・活動計画に連結した補助金・委託を主要財源とした予算編成とする。

1. 補助金・委託は、主にオンライン型事業を想定し支出減が想定できるが、ほぼ前年並みの申請を行う。
HPリセット等の民間補助金の申請にチャレンジする。
2. 自己会計の収支の主な内容
 - (1) 新たに賛助会員の勧誘活動を初期段階レベルで指向する。
 - (2) アースデイおおいたの補助金ゼロを勘案し、自己会計協賛を行う。
 - (3) NPO法人化支出を織り込む。
 - (4) 繰越金増を目指す。

1. 補助金関係

科目	2021(令和3)年度			備考
	前期実績	当期予算	差異	
損保ジャパン興亜基金	200,000	0	-200,000	不採択
大分県地球温暖化対策講座 (委託)	92,200	100,000	7,800	5月申請
大分県子ども探検団推進事業 (委託)	234,237	300,000	65,763	5月申請
大分市市民が支える応援事業 (補助金)	169,670	250,000	80,330	2/1申請済
県内金融機関助成金	0	200,000	200,000	
コープおおいた	200,000	0	-200,000	当年度申請不可基準
計	896,107	850,000	-46,107	

2. 自己会計関係

科目	2021(令和3)年度			内訳	
	前期実績	当期予算	差異		
(1) 前期繰り越し	142,020	190,621	48,601	繰越内訳	現金50980 預金 (豊和銀行) 139641
(2) 収入					
① 会費収入					
個人正会員	36,000	40,000	4,000	会員増を見込む	20名×2000
賛助会員	0	50,000	50,000	協議会体制関連	新規賛助10口×5000
計	36,000	90,000	54,000		
② その他					
会の上納・寄付	23,000	20,000	-3,000		
大分市社協補助金	6,000	6,000	0		
大分銀行	10,311	0			
大分県感謝祭補助	10,000	10,000	0		
還付・返金・利子	5,942	2	-5,940		
③ 企業協賛	0	30,000	30,000	アースデイおおいたを目的とするもの	
計	55,253	66,002	10,749		
収入計(A)	91,253	156,002	64,749		
(3) 支出					
① 消耗品	4,331	5,000	669	事務費、材料費	
② 使用料	0	2,000	2,000	駐車	
③ イベント経費	9,000	15,000	6,000	イベント昼食	
④ 寄付	0	50,000	50,000	アースデイおおいた協賛	
⑤ 広報費 (HP管理費)	0	20,000	20,000	HP管理費前年度未払い+今年度分	
⑥ 会費納入	1,000	1,000	0	市社協年会費	
⑦ ZOOM年間登録料	18,000	18,000	0		
⑧ NPO法人化諸費	0	20,000	20,000		
⑨ 雑費	10311	10,000	-311	予備費	
支出計(B)	42,642	141,000	98,358		
(4) 次期繰り越し	190,621	205,623	15,002		

2021事業額レベル及び団体発足6年の推移

「2024目標min500万円～max2000万円」

		2021予算	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
委託・補助金 + 自己会計	収入	1,006,002	1,129,380	1,381,956	940,450	521,343	469,252
	支出	991,000	938,749	1,317,203	883,225	552,311	469,840
	繰越	205,623	190,621	142,010	66,946	9,720	10,688